

テーマ

医療資源の選択と集中とは？

適用分野

社会保障財政、地方財政、医療経済



研究名称

産婦人科の集約化政策の検証

氏名所属

足立泰美 教授
経済学部経済学科

内容

●特徴

大阪府泉南地域の医療機関では、産婦人科の医師不足と病院経営の悪化といった深刻な問題を抱えている。行政と医療機関は、効率的な医療提供体制の構築を目指し、当該地域の市立泉佐野病院と市立貝塚病院の産婦人科の集約化を実施した。だが、集約化政策は、医療の効率化が達成されるものの、医療アクセスの低下を招く可能性がある。本研究は、医療アクセスに着目し、当該地域の妊婦の施設選択行動を検証する。

●研究内容

本研究の目的は、医療資源の集約化を実施することで、妊婦の施設選択が妨げているかどうかを明らかにする。具体的には、集約化される市立貝塚病院で出産していた妊婦が、どのような施設を選択するかを

- 1) 集約化前後の各地域の出産動向を明らかにしたうえで、
- 2) 集約化実施地域の妊婦の施設選択行動
- 3) 集約化による周辺医療機関への影響から検証する（図1参照）。

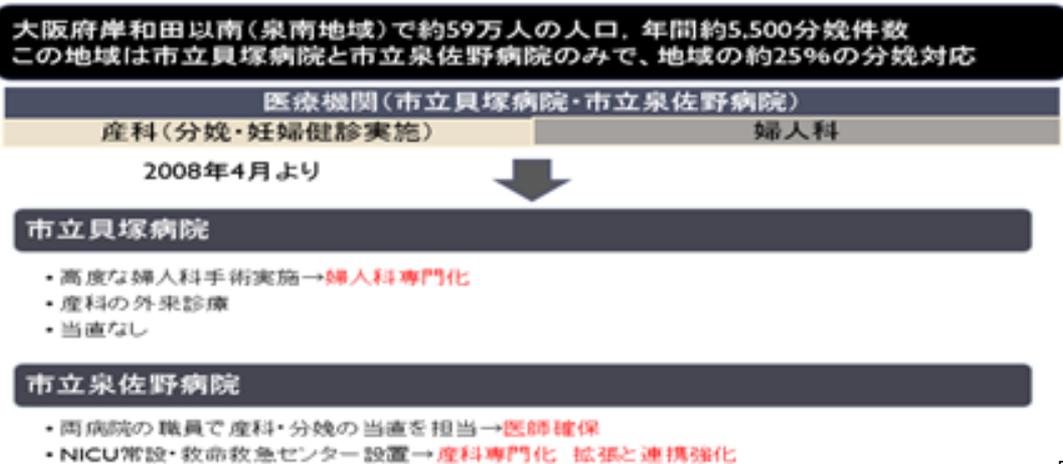


図1 集約化政策の概要

キーワード

医療資源の集約化、医療提供体制の効率性

連携方法

- 講演
- 研修
- 研究相談
- 学術調査
- コメント
- 共同研究